49th
令和４年度１１月号 ［１１月１５日（発行）］
校訓　自主・協同・創造

岸川中だより

川口市立岸川中学校
川口市安行領根岸374番地の１
TEL268-4506　FAX268-4761
特別支援学級　TEL268-7110
さわやか相談室TEL268-4510
https://kishikawa.official.jp

今、子どもたちは　～私たち 大人 ができること～
前川本町町会　青少年育成講演会に参加して・・・考えるのこころ

校長　松田　隆幸

素晴らしい取り組みでした。第１回の青少年育成講演会。テーマが、「大人」に何ができるのか？何をしなければならないのか？この大きなテーマを香川・群馬・静岡で少年院長・丸亀市の教育長を歴任し、現在はスクールカウンセラーである　中野　レイ子　様に熱く語っていただきました。
コロナ禍で一時停滞してしまった学校間・学校と地域の「連携」ですが、ここにきて、再び活性化の兆しが見え始めたところです。そもそも、前川小・前川東小・岸川中の３校の教職員向けにご講演いただき、それがきっかけとして、学校と地域のつながりが、緊密になり、多くの表彰を受けることとなりました。そんな前川の地域にとってとても重要な方のお話を、恥ずかしながら、初めてお聞きする機会にめぐまれました。本町町会さんありがとうございました。＊(紙面のスペース上抜粋で！)

【少年院長時代の経験から、送致される子どもに共通していることとは、、、】
①家庭に居場所がない　②自尊感情が低い　③刹那的・楽しさの質の価値観・今さえよければ
④大人に対する不信感、疎外感と社会性の欠如

【教育長時代に感じた生徒の様子とは、、、】
①安心できる場所が年々確保できなくなってきている(メンタル、リラックスできる場所)
②自分を大切だと思える子どもが少なくなってきている(自尊感情の欠如)
③将来の夢を語れる生徒が少なくなってきている(人生の将来設計がない)
④人と基本的な関係を構築することが苦手な生徒が増えてきている(コミュカ不足)

少年院長の話と教育長としての話が一致！このことは偶然なのだろうか？そうではない。今は、少年院に来る子どもの様子と普通に学校で学んでいる子どもの様子が一致する危険な状況にある。不登校の生徒にも言えることとして、自尊感情はなぜ低いのか？その原因は何なのか？たくさんある複合的な要因があるだろうと前置きされて、、、その一つとして、、、、家族の変化があると説かれました。家族の変化とは、昔の大家族から、核家族になったこと。両親は、大方、一致した教育方針で、我が子に対して指導する。すると、ダメ出しをした際には、フォローする人が周囲にいない。すると、子どもは自らをダメな子として認知するしかない。「でも、〇〇ちゃんはこんなところはいいよ！」の声を出す人がいない。たとえ、「おじいちゃんは黙ってて！」の声が出ようとも、子どもにとっては救いの一言があるのは大きい。この核家族の環境は、虐待をも生み出しやすい環境でもある。事実、コロナ禍もあったが、虐待は増加した。核家族下が多い事実がある。

価値観の多様化も、、、。多様化することは良いことである。異なるものを受け入れ、切磋琢磨する、互いを尊重しあう等素晴らしい反応が起こる。しかし、そればかりではない。誤った価値観として、体罰をしつけと言い張るような、身勝手で、独りよがりの価値観や、面倒なことを言う人と関わりたくないが故に、尊重しているかのように何も言わず放置する。本来の価値観の尊重とは違う方向に行ってしまうことが、起きている。子どもを育てていくうえで、絶対なこととは、、、

環境が悪くても、親が悪くても、子どもの成長を止めてはいけない！
いまこそ、地域の力が必要な時！なるほど納得のお話でした。今から、すぐにでも、核家族から大家族になりなさいって言っても無理な話。だから、地域の力が大事。PTA や町会の組織への参加とは、参加することの価値や意義を見出すことができるかどうか？と、大人がすべきこととはなんなのか？を考えることです。話を聞き終えて、改めて考えさせられました。
今日もダメ出しされっぱなしで、失敗・叱責を恐れて、自分からは何もできず、いちいち許可を取らなければならない、一方的に話の聞き役に徹し、決して意見を言えない家庭に帰りたくないな～

令和５年岸川中学校は創立 50 周年
2023　Kishikawa.J.H.S　50th　ANNIVERSARY